



自由党
LIBERAL PARTY

衆議院議員

玉城デニーPRESS

自立と共生

ひたむきに沖縄

VOI.29



◆自衛隊員救急救命法案を提出



11月15日(火)、玉城デニーは自由党の法案提出者として民進党とともに「自衛隊員救急救命法案」を向大野衆議院事務総長に提出しました。政府は同日の閣議において「駆けつけ警護」の新しい任務を付与する「南スーダン PKO 実施計画の変更」を決定しましたが、自衛隊員の任務が拡大されたにも係わらず最前線での救急救命のあり方に問題があるため、自衛隊の医療衛星部門の改革と充実を図り、医官等の人員や関係装備の充実体制を整備することを促す基本法を取りまとめたものとなっています。負傷した自衛隊員に対し、救急救命処置を行うことの必要性は極めて高く、派遣される自衛隊員の安全は国が責任を持って守らなければなりません。今回、その趣旨に賛同してこの法律を共同で提出致しました。

なお同日、いま大きな社会問題になっている「過労死」を防ぐための「労働基準法の一部を改正する法律案」(長時間労働規制法案)も自由・民進・共産・社民の4党で提出致しました。

◆「沖縄県知事就任2周年 翁長雄志激励会」に参加

11月8日(火)に沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハにて翁長雄志知事の激励会が1000名以上の来場者で大盛會に開かれました。「誇りある豊かさを！」をスローガンに知事就任2年が経ち、「辺野古に新基地をつくらせない」「沖縄のソフトパワーを活用した施策展開、沖縄21世紀ビジョンの実現」「沖縄らしい優しい社会を構築する」を柱に県政運営をまい進されています。

取り分け辺野古新基地建設を巡る「不作為の違法確認訴訟」では三権分立の根本を揺るがす国の偏った不条理な判決が下されましたが、沖縄県の正当な主張を最高裁の場でも正々堂々と訴え多くの国民、県民の理解のもと、様々な手法を駆使し「辺野古新基地建設阻止」に向けて強い決意の確認をあらためておこないました。玉城デニーも県民の未来を担い、政治に責任をもつ思いを翁長雄志知事とともに新たに致しました。



2016自由党沖縄県連始動集會“KICKOFF”のお知らせ

○日時 平成28年12月2日(金) 午後6時30分受付 7時スタート

○場所 パシフィックホテル沖縄 ワイケレ(2階) 那覇市西3-6-1 TEL098-868-5162

○ゲスト 小沢一郎 自由党代表

○参加費 ￥1000(コーヒー&ケーキのセットをご用意致します)

※この集會は自由党の活動にご賛同頂ける皆さまどなたでもご参加頂けます。

★年間を通して党員・サポーター及びボランティアを募集しています!

～このプレスの配信停止やご意見などございましたら、ご連絡をお願い致します～

平成28年11月 21日発行:衆議院議員 玉城デニー事務所(担当:宮城)

TEL.098-929-2416 FAX.098-929-2005